

# おひさま

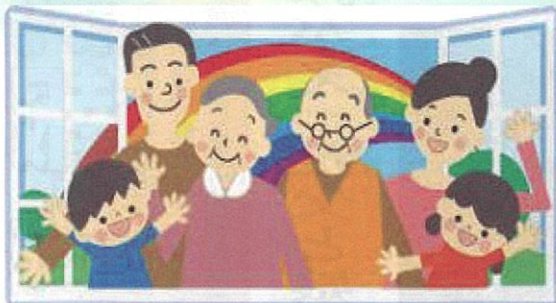
支えあう 住みよい社会 地域から

民生委員・児童委員は、身近な相談相手、見守り役として地域の安全・安心を支えています。

第8号 2018・12・15

発行：茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会  
 発行人：篠原 徳守/茅ヶ崎市民児協会長  
 編集人：木下 操/茅ヶ崎市民児協副会長

〒253-8686  
 茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1  
 茅ヶ崎市役所福祉政策課民児協事務局  
 ☎0467-82-1111



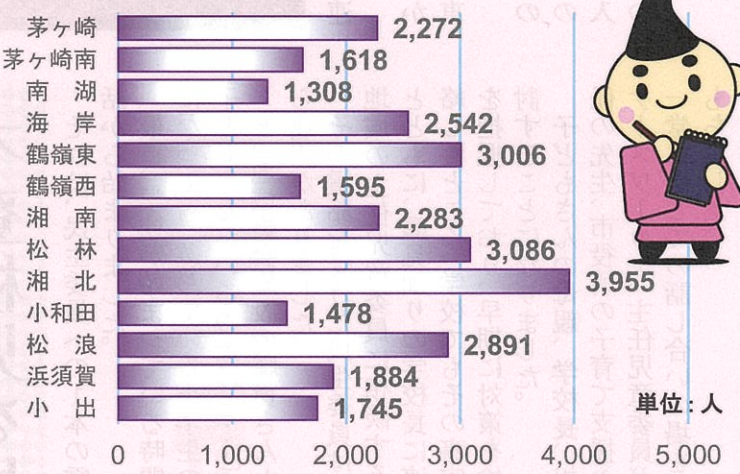
## 65歳以上 市の高齢化率 26.1%に!

ひと目でわかる!平成30年度『在宅高齢者実態調査』速報

\*速報値のため、各データには一部施設入所者が含まれます。

### 地区別回答者数

●今回の調査の回答者数は、13地区・合計 29,663 人でした。



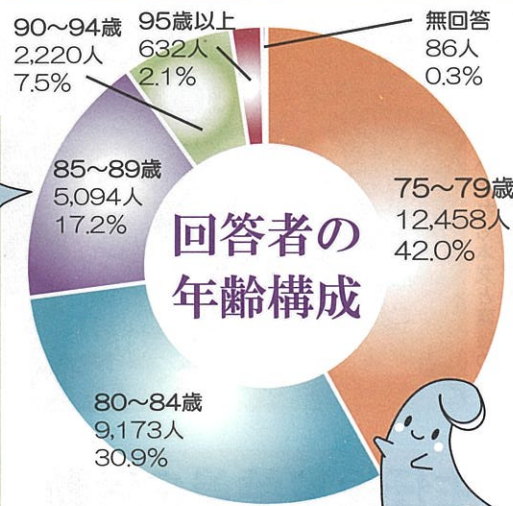
★茅ヶ崎市の高齢化率は、前回の在宅高齢者実態調査実施時（平成27年5月末時点）は 24.48%でしたが、平成30年9月末現在で 26.1%と上昇しています。また、要支援・要介護認定者数も増加しており、65歳以上の高齢者に占める要介護・要支援認定者の割合は、14.46%から15.45%と、こちらも上昇しています。

### 面談・聞き取り調査の目的

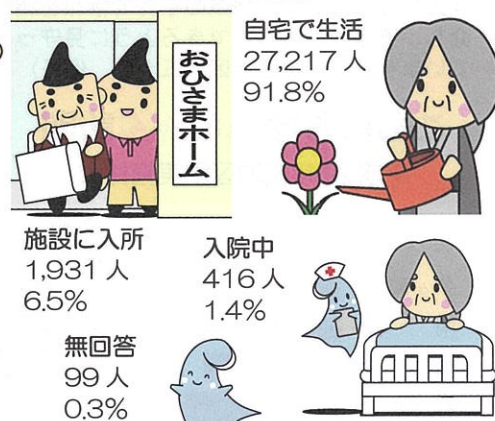
在宅高齢者実態調査は、ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等の状況を把握し、その情報を民生委員・児童委員、地域包括支援センターと共有し、見守り・安否確認等を促進するとともに、緊急時の対応等に活用することを目的に実施しています。

調査は、平成8年度に開始され、同12年度の2回目以降3年ごとに実施、今回で8回目になり、民生委員・児童委員が対象者宅を個別訪問し、聞き取りにより行っています。

平成27年度までは対象を65歳以上としていましたが、調査開始当時と比較し、高齢者数が増加したこと、元気な65歳以上の方が増え、高齢者の捉え方が現状に合わない状況にあること、日本老年学会等による高齢者の新しい定義の提言等を踏まえ、今回から75歳以上を対象としました。



### 現在の状況

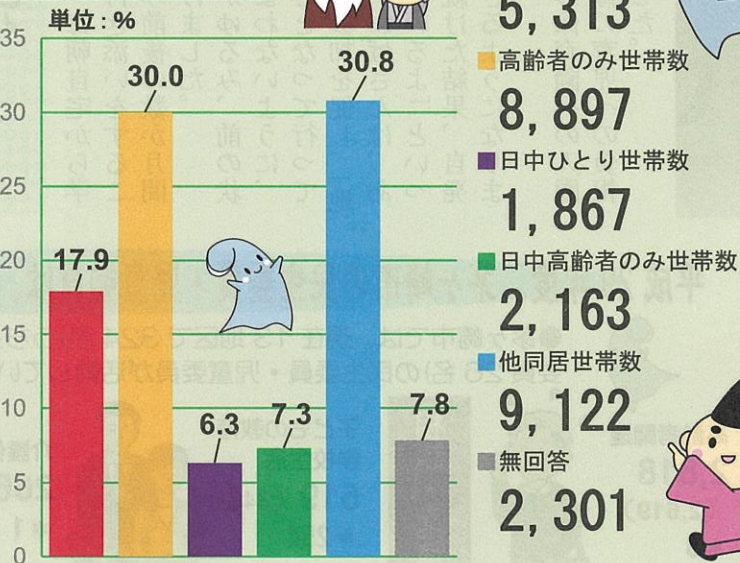


★「自宅で生活」されていると回答された方のうち、制度を知っている方より、知らない方のほうが多いという結果が出てしまいました。

避難行動要支援者支援制度とは、地域の共助によって、災害発生時等に自ら避難することが困難な方々（避難行動要支援者）に支援の手を差し伸べることで、「減災」につなげることを目的とした制度です。

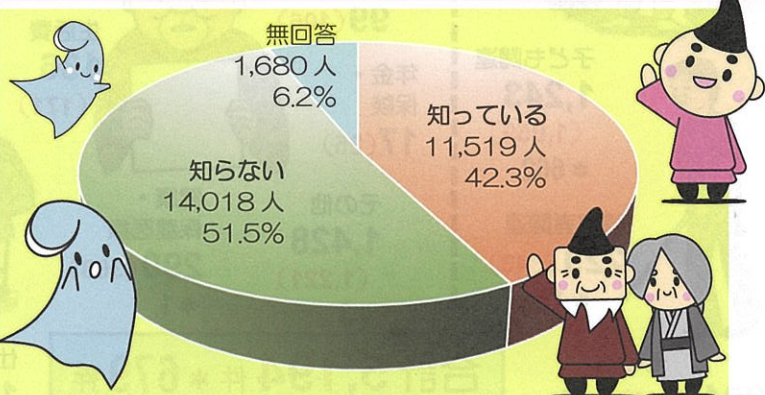
災害時に一人でも多くの命を救うためには、支援が必要な方の情報を予め把握しておくことが重要なため、引き続き制度の周知が必要です。

### 世帯の状況



★「ひとり世帯」が17.9%、「高齢者のみ世帯」が30%、この2つを合わせた「75歳以上の高齢者のみ世帯」は実に47.9%に達します。「高齢者のみ世帯」は、ひとり世帯の予備軍と考えられるため、「ひとり世帯」は、今後も増え続けることが想定されます。

### 『避難行動要支援者支援制度』周知状況



## 新たな百年に向けて歩き出す



今年には民生委員法制定七十周年であるとともに、民生委員制度創設から百一年目として新たな百年に向けて歩みだす大切な年でもあります。

しかし、世間を見渡しますと、急速に進む少子高齢化やひとり暮らし世帯の増加、家族意識が変化する中で、地域社会では、人々の繋がりが希薄化し、孤立や孤独、介護や子育て等に対する不安など、多様な課題を抱えています。

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会会長 篠原 徳守

今年には民生委員法制定七十周年であるとともに、民生委員制度創設から百一年目として新たな百年に向けて歩みだす大切な年でもあります。児童や高齢者、障害者への虐待、社会的孤立を背景とした課題や、振り込め詐欺・悪質商法被害等も社会問題化しています。また、豪雨や地震等の自然災害も相次いでいます。さらに、犯罪被害や虐待により、未来ある子どもたちが尊い命を落とすような事件が後を絶たないことは、私たちの大きな悲しみでもあります。このような状況下で、皆が笑顔で安全に安心して生活ができるよう、いかに充実した福祉社会を構築し、堅持していくかが問われています。

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会は、支援を必要とする、全ての人が孤立することのないよう、日々の見守りや相談・支援活動を進めるとともに、地域の関係諸団体と幅広く連携し、安心して生活できる地域社会づくりに努めます。また、未来を担う子どもたちが、健やかに育つことのできるように子育て応援をする地域づくりに努めます。

最後に民生委員・児童委員は、民生委員法で、守秘義務が課せられており、市民の皆様からの相談ごとに対して、他言することは一切ございませんので、安心してご相談下さい。



# 茅ヶ崎市民児協だより おひさま

## 活動実例報告

民生委員・児童委員は、あなたの身近な相談相手です。最近の実例から2件を紹介しましょう。ひとりで悩まず、ごつて、いつても気軽に相談ください。民生委員・児童委員は秘密を厳守します。



### スムーズな連携でよみがえった父と娘の笑顔

「お陰様で気がかりだった父の主治医と、10日間のショートステイが決まりました。安心して再入院することができました」  
受話器の向こうのAさん(40代後半・女性)の声は、明るく安堵感に満ちていました。



2か月前、彼女の電話の声は暗く沈んでいました。  
「民生委員さん、私がどうしても入院して手術を受けなければならなくなってしまうって…。でもその間、85歳(要介護2)の父を一人にできないし…」

話を聞き終えた私は、直ちに地域包括支援センター(以下、包括)に連絡しました。居合わせたRさんは、時間外であったのにもかかわらず、「これからすぐお邪魔しましょう」とおっしゃり、自転車でAさん宅に駆けつけてくださいました。  
Aさんと向き合ったRさんのときは、きと手際良い対応ぶりには、「さすが!」と思わずにはいられませんでした。  
わずかの時間で、Aさんの病状、入院・手術のことに始まり、普段の父娘ふたりの暮らしぶりやお父さんの健康状態や性格のことまで、細々とした事柄を図解入りで、A4用紙数枚にまとめられました。  
「概要は分かりました。ケアマネジャー(介護支援専門員)要支援者・要介護者が介護保険サービスを受けられるようにケアプラン(サービス計画書)を作成し、自治体やサービス事業者

との連絡・調整等を行う」に連絡を取りました。  
と、その場から携帯電話をかけるられ、20分ほどでMさんが車で急行していただきました。  
それから小一時間、Aさんの希望や不安などを聴きながらの話し合いが続けられ、彼女の入院中の父親のケアに関して次のような結論が出されました。  
・父親の食事は宅配にする  
・父親の紙おむつの始末は、ヘルパーさんをお願いする  
父親を見守る新たな二つの目ができたことにひとまず安心したAさんでしたが、気がかりなことがもう一つありました。それは、頑固で人付き合いが苦手な父親の性格でした。これまでも民生委員や包括の介入をかたくなに拒んできたという経緯があったからです。  
でも、「大丈夫です。私たちのスタッフは様々なタイプの方たちのお付き合いに慣れていまして、Mさんの力強

### 不登校児を地域でサポート

それは、民生委員への1本の電話から始まりました。  
「最近、学校が始まっている時間になっても、遊んでいる小学生の子どもさんがいるのだけ…」  
と、地域集会施設の職員さんから連絡がありました。  
その電話を受けた民生委員は、地域の主任児童委員に相談するとともに、顔見知りの学校長に連絡したところ、学校でもその事実を把握しており、早期に対策を検討することになりました。  
子どもさんの母親、学校長、担任の先生、市役所の子育て支援のケースワーカー、主任児童委員が一堂に会しての話し合いの場をもちました。

2か月後、Aさんの再手術は成功、仕事にも復帰されました。心配された父親も、今ではデイサービスに出かけることを心待ちにしているそうです。  
民生委員(包括)ケアマネジャーのスムーズな連携で、父と娘に笑顔がよみがえりました。

い言葉に後押しされ、入院したAさんの手術は無事に終わりました。完治を目指すためには、2か月後の再入院・再手術が必要であることも判明しました。  
猶予はありません。民生委員、包括スタッフ、ケアマネジャーが集まって、今後の父親に対するケアについての話し合いを行い、ヘルパーによる訪問介護・介護ベッドと車いすのレンタル・週1度のデイサービスの利用・病院嫌いでかかりつけ医もいないため主治医を選定する

などの協力を得て、毎朝自宅から学校への通学の付き添いをするのと、夏休み前後の数か月間付き添いを続けました。  
夏休みで気がゆるみ、前の状態に戻ってしまわないように、民生委員が中心となって行っている勉強会への参加を促し、「地域のおじさん、おばさんは、あなたを見守っているよ」といった印象を与え続けた結果、自発的な登校ができるようになりました。  
一方、乳児の保育園への入園もかかない、祖母の育児への負担も軽減されました。

その結果、その家庭は、母子家庭で、祖母、母親、小学生の女の子、乳児の4大家族で、母親が働いているので、祖母が孫の面倒をみていましたが、乳児に目が離せないことから、小学生にまで十分に手が回らず、朝も決まった時間に起こす、決まった時間に食事をとらせる、といった日常の時間の管理が、不十分であることが分かりました。  
祖母の負担を軽減すべく、乳児の保育園への入園をサポートしながら、小学生の子どもさんについては、地域のボランティア団体



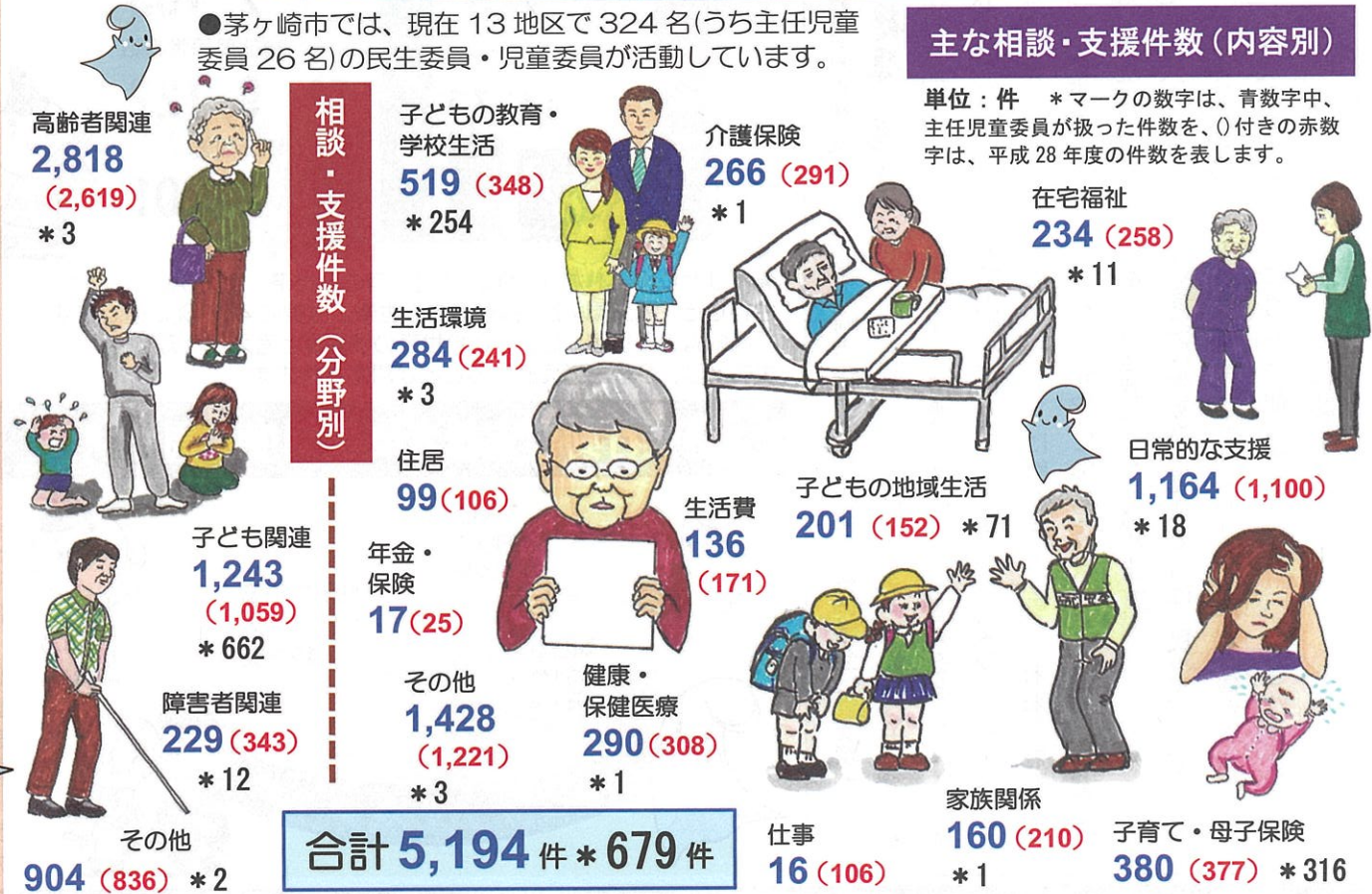
\*掲載写真は、いずれも本文と直接の関係はありません。イメージです。

### 平成 29 年度、茅ヶ崎市の民生委員・児童委員は、こんな相談・支援要請をお受けしました

●茅ヶ崎市では、現在 13 地区で 324 名(うち主任児童委員 26 名)の民生委員・児童委員が活動しています。

#### 主な相談・支援件数(内容別)

単位: 件 \*マークの数字は、青数字中、主任児童委員が扱った件数を、() 付きの赤数字は、平成 28 年度の件数を表します。



### 主任児童委員の活動

生後 4 か月までの赤ちゃん(第 2 子以降)を訪問しています。何でも相談できる身近な先輩ママとして、地域の子育て情報を紹介し、安心して子育てできるように見守っています。(松浪地区/五十嵐 優子)

#### こんにちは赤ちゃん訪問

平成 29 年度地区別実施件数

